

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成29年3月9日 (2017.3.9)

【公開番号】特開2013-67627(P2013-67627A)

【公開日】平成25年4月18日 (2013.4.18)

【年通号数】公開・登録公報2013-018

【出願番号】特願2012-247098(P2012-247098)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/36 (2006.01)

A 6 1 K 8/73 (2006.01)

A 6 1 Q 19/10 (2006.01)

A 6 1 K 8/25 (2006.01)

A 6 1 K 8/29 (2006.01)

A 6 1 K 8/92 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 8/36

A 6 1 K 8/73

A 6 1 Q 19/10

A 6 1 K 8/25

A 6 1 K 8/29

A 6 1 K 8/92

【誤訳訂正書】

【提出日】平成29年1月26日 (2017.1.26)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

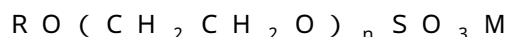
【訂正対象項目名】0 0 2 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 2 4 】

アニオン界面活性剤は、また、アルキルスルフェート（例えば、 $C_{12} \sim C_{18}$ アルキルスルフェート）またはアルキルエーテルスルフェート（アルキルグリセリルエーテルスルフェートを含む）であってもよい。アルキルエーテルスルフェート中では、式：



[式中、R は、8 ～ 18 個の炭素、好ましくは 12 ～ 18 個の炭素を有する、アルキルまたはアルケニルであり、n は、0.5 より大きく、好ましくは、1 ～ 3 の平均値を有し、M は、ナトリウム、カリウム、アンモニウムまたは置換されているアンモニウム等の可溶化カチオンである。] を有するものである。アンモニウムおよびナトリウムラウリルエーテルスルフェートが好ましい。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 6 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 6 4 】

油 / 皮膚軟化剤のその他例としては、ペトロラタム、鉱油、天然または合成ワックス、アロエ、およびジメチルポリシロキサン、シリコーンエラストマー、ポリブテンなどのアルキレンもしくはイソアルキレンの水素化もしくは非水素化ポリマー、ポリアルファオレフィン、ポリエステルまたはポリアクリレート、ならびに上記の混合物などの高分子有益

剤が挙げられる。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(1) アニオン界面活性剤または、アニオン界面活性剤と非イオン界面活性剤、両性界面活性剤、カチオン界面活性剤の混合物から選択される、2 重量%から30 重量%の界面活性剤であって、該アニオン界面活性剤は、脂肪族スルホネート、アルキルスルフェート、アルキルスルホスクシネート、サルコシネート、タウレート、カルボキシレート、アシルイセチオネートおよびこれらの混合物からなる群から選択されるアニオン界面活性剤である前記界面活性剤、

(2) 0 から30 重量%の有益剤であって、液体洗剤において不溶の、化粧品品質の有機、無機またはポリマー物質である有益剤、ならびに

(3) (i) C8 ~ C13 線状脂肪酸、および

(ii) 0.5 重量%から15 重量%の合計組成の変性または非変性デンプンであって、該デンプンは、溶解しているか、または膨潤したゲル粒子の形態であるもの

を含む構造化系、

を含み、

線状脂肪酸対前記界面活性剤の比は、1.0 / 9.0 から3.5 / 6.5 であり、

前記界面活性剤および脂肪酸は、4.5 から7.5 の範囲におけるpHで測定して、界面活性剤および脂肪酸の合計15 重量%で界面活性剤 / 脂肪酸粒子を含む曇り溶液を形成し、形成された界面活性剤 / 脂肪酸粒子の量は、界面活性剤および脂肪酸の合計を基準にして少なくとも15 重量%であり、

液体洗剤組成物のpHは、5.0 ~ 7.5 であり、

変性デンプンは、水におけるデンプンの溶解または膨潤を高めるための化学的または物理的変性を指す、

個人向け製品の液体洗浄組成物。

【請求項 2】

3 重量%から20 重量%の界面活性剤を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

5 重量%から20 重量%の界面活性剤を含む、請求項 1 または 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

15 重量%以下の界面活性剤を含む、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 5】

前記有益剤水準が、0.5 重量%から25 重量%の範囲にある、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 6】

不溶が、前記液体洗剤における活性成分の1 重量%未満の溶解度であると定義される、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 7】

前記有益剤が、皮膚軟化油または界面活性剤不溶無機粒子である、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 8】

前記粒子が、変性または非変性雲母、タルク、二酸化チタン、またはこれらの混合物から選択される、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 9】

前記脂肪酸が、C 8 ~ C 13 線状脂肪酸およびこれらの混合物である、請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 10】

前記脂肪酸が、C 10 ~ C 12 脂肪酸である、請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 11】

脂肪酸対界面活性剤の比が、1 . 5 : 8 . 5 から 3 . 0 : 7 . 0 である、請求項 1 から 10 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 12】

pH が、5 . 5 から 7 . 0 である、請求項 1 から 11 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 13】

0 . 5 から 10 重量 % の変性または非変性デンプンを含む、請求項 1 から 12 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 14】

前記変性デンプンが、ホスフェート、スルフェート、スルホネート、カルボキシレート、ジアルキル／トリアルキルアミノまたは第4級アンモニウム、ヒドロキシプロピル、ヒドロキシエチル基、およびこれらの混合物から選択されるイオン性および／または非イオン性親水性基で化学的にまたは物理的に変性されている、請求項 1 から 13 に記載の組成物。

【請求項 15】

前記変性デンプンが、冷水アルファ化デンプン粉末である、請求項 1 から 14 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 16】

界面活性剤／脂肪酸粒子の量が、界面活性剤および脂肪酸の合計の 25 重量 % ~ 85 重量 % の範囲にある、請求項 1 から 15 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 17】

前記デンプンが、最終組成物において、少なくとも 200 容量 % まで膨潤する、請求項 1 から 16 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 18】

デンプン粒が、液体組成物において、3 から 200 μm のサイズまで膨潤する、請求項 1 から 17 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 19】

10 重量 % から 80 重量 % の脂肪酸が中和されている、請求項 1 から 18 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 20】

粘度が、1 秒当たり約 10 から 400 Pa の範囲にある、請求項 1 から 19 のいずれか一項に記載の組成物。